

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 4 月の経済報告】

令和 2 年 4 月 27 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数（内閣府、令和 2（2020）年 4 月 7 日発表） （令和元（2020）年 2 月分速報より抜粋）

2 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、先行指数：92.1、一致指数：95.8、遅行指数：101.0 となった。

先行指数は、前月と比較して 1.6 ポイント上昇し、2 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.50 ポイント上昇し、20 か月ぶりの上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.22 ポイント下降し、21 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 0.6 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.20 ポイント上昇し、5 か月ぶりの上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.53 ポイント下降し、16 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 2.7 ポイント下降し、4 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 0.87 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。7 か月後方移動平均は 0.53 ポイント下降し、7 か月連続の下降となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202002psummary.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（4月）（内閣府、令和2年4月23日公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

<日本経済の基調判断>

（現状）

- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

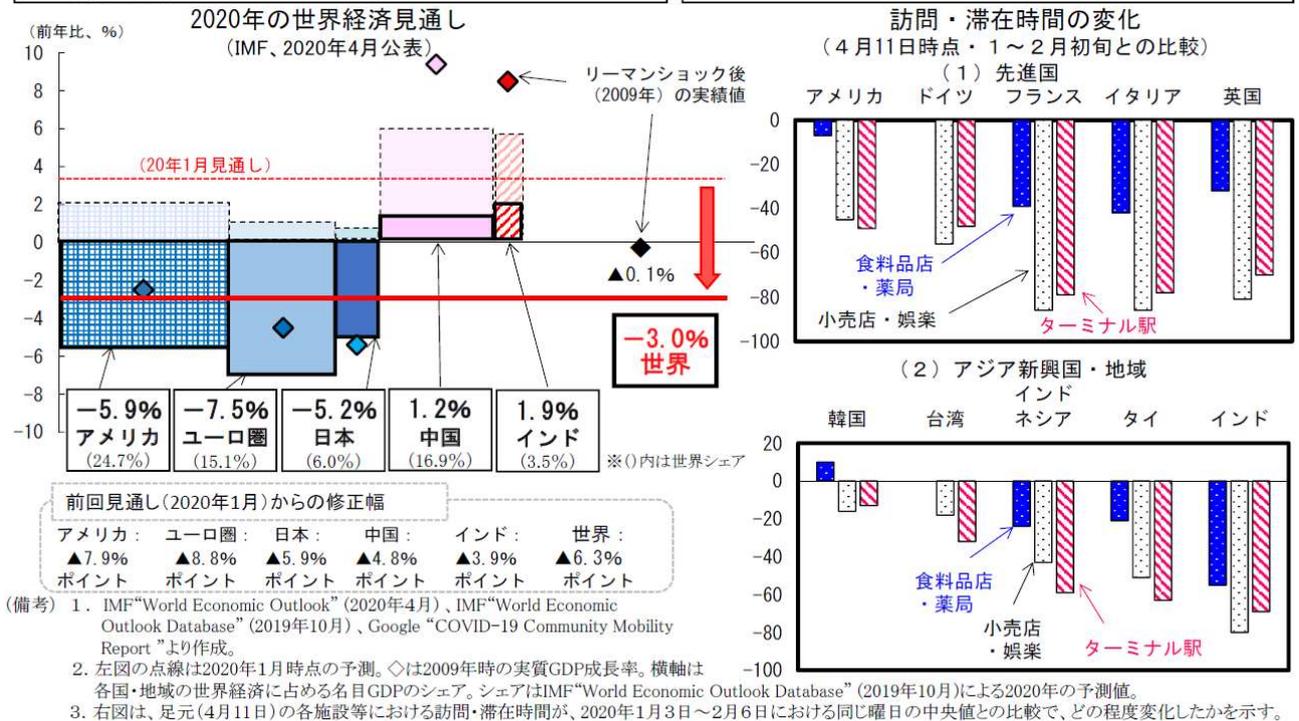
（先行き）

- ・ 先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(1) 世界経済

➤ 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、2020年の世界経済は大幅なマイナス成長となる見通し。アメリカ、ユーロ圏、中国で、リーマンショック後を大きく下回る成長率となる見込み。

➤ 外出制限等の実施により、店舗や公共交通機関への訪問・滞在時間は大きく減少。経済活動は大幅に縮小しているとみられる。



詳細は以下より内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料をご参照下さい。

（4月例経済報告資料 pdfへ）：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/04kaigi.pdf>

（ご参考）内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資（令和2年4月8日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）
令和2年2月実績： 機械受注統計調査報告

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年1月前月比11.5%増の後、2月は同6.9%減の2兆2,218億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比3.1%増の1兆183億円、官公需は同39.1%減の2,390億円、外需は同2.7%増の8,907億円、代理店は同2.7%減の1,196億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年1月前月比2.9%増の後、2月は同2.3%増の8,585億円となった。このうち、製造業は同1.7%減の3,738億円、非製造業（除く船舶・電力）は同5.0%増の4,836億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1-3月 (見通し)	2019年 (令和元年) 11月 (実績)	12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1月 (実績)	2月 (実績)
受注総額		-7.5	-1.3	1.8	-5.4	-1.2	-0.5	-4.6	11.5	-6.9
民需		0.7	6.3	0.1	-4.3	-2.8	5.1	-8.6	-1.6	3.1
〃（除船電）		-2.6	7.8	-4.7	-1.8	-2.0	11.9	-11.9	2.9	2.3
製造業		-5.9	2.3	-3.5	-2.8	-1.0	-1.2	2.4	4.6	-1.7
非製造業（除船電）		-1.0	14.3	-9.3	3.6	-5.2	18.4	-18.8	-1.7	5.0
官公需		-18.8	29.7	-4.9	-10.5	-12.5	-3.3	-17.8	87.8	-39.1
外需		-11.9	-13.4	5.8	-7.9	5.2	-10.2	3.0	9.1	2.7
代理店		-4.5	-0.5	-4.0	-3.1	4.9	1.3	-2.6	8.1	-2.7

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 2020年1月調査(同年3月16日公表)において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2020年1~3月見通し」(同年2月19日公表)も改訂されている。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2002juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2020年4月17日発表 より抜粋）

結果の概要【2020年2月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数
～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、98.3で前月比-0.1%の低下。
 低下業種： 汎用・業務用機械工業同-0.5%、生産用機械工業同-0.3%、
 金属製品工業同-0.5%等
 上昇業種： 電気・情報通信機械工業同 0.2%、化学工業同 0.1%
- ・ 製造工業稼働率指数は、95.6で前月比-1.8%の低下。
 低下業種： 輸送機械工業同-4.1%、電気・情報通信機械工業同-6.6%、
 汎用・業務用機械工業同-7.9%等
 上昇業種： 化学工業同 3.8%、電子部品・デバイス工業同 3.6%、
 鉄鋼・非鉄金属工業同 2.4%等

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	98.3	-0.1	-0.4

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	95.6	-1.8	92.6	-7.3

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	99.5 (99.5)	-0.3	94.6 (94.6)	-5.7
出荷 (速報値)	98.9 (98.9)	1.0	94.5 (94.5)	-5.4
在庫 (速報値)	104.4 (104.1)	-1.7	105.2 (104.9)	1.6
在庫率 (速報値)	112.5 (112.2)	-2.3	119.9 (119.5)	9.4

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2020年2月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

Index. 2015 = 100

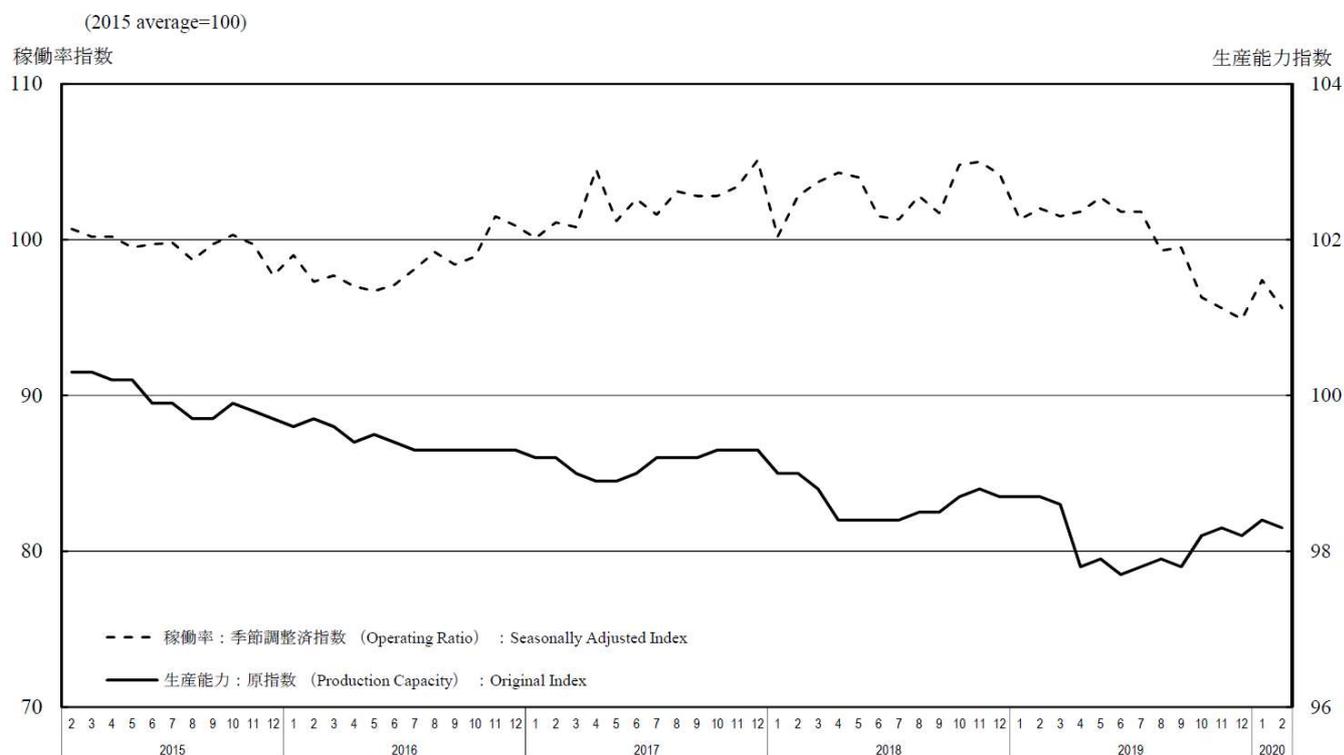
生産能力 Production Capacity	原 指 数 Original Index		
	98.3	前月比(%) %Change from Previous Month	前年同月比(%) %Change from Previous Year
		-0.1 (2か月ぶり)	-0.4 (26か月連続)
稼働率 Operating Ratio	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原 指 数 Original Index
	95.6	前月比(%) %Change from Previous Month	92.6
		前年同月比(%) %Change from Previous Year	
		-1.8 (2か月ぶり)	

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index,2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
2017年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y. 2019
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 IV期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4 2018
2019年 I期	98.6	-0.1	-0.2	101.6	-3.0	101.6	-2.1	Q1 2019
II期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2
III期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4
2018年 12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec. 2018
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	101.3	-2.8	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	102.0	0.7	99.9	-1.7	Feb.
3月	98.6	-0.1	-0.2	101.5	-0.5	107.6	-4.1	Mar.
4月	97.8	-0.8	-0.6	101.8	0.3	101.7	-0.4	Apr.
5月	97.9	0.1	-0.5	102.7	0.9	99.9	0.1	May
6月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.
7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.
2020年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan. 2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
 Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdfへ)

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202002nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年3月31日発表より抜粋)

【2020年1月動向概況】

- ・ 2020年1月のグローバル出荷額は2,890億円、前年比91.0%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比85.4% 1,226億円）、接続部品（同98.2% 760億円）、変換部品（同90.1% 480億円）、その他の電子部品（同98.0% 422億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比94.5% 667億円）、米州（同84.0% 320億円）、欧州（同87.9% 339億円）、中国（同91.5% 925億円）、アジア・その他（同92.3% 642億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.03.31 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計		
	11月		12月		1月		4月-1月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,171	90	3,080	103	2,890	91	31,227	93	
(日本)	709	82	724	94	667	94	7,217	92	
品目別	受動部品	1,325	86	1,313	99	1,226	85	13,124	91
	コンデンサ	957	85	939	97	879	83	9,374	91
	抵抗器	115	80	116	87	114	87	1,203	87
	トランス	32	82	31	85	32	85	340	87
	インダクタ	217	95	220	119	194	91	2,171	98
	その他	3	102	4	173	5	174	34	112
	接続部品	830	90	817	104	760	98	8,273	96
	スイッチ	346	88	317	95	328	92	3,611	100
	コネクタ	480	91	497	111	428	103	4,625	93
	その他	3	68	2	64	2	66	36	72
	変換部品	547	86	500	98	480	90	5,459	92
	音響部品	126	75	107	77	106	71	1,171	79
	センサ	205	92	200	104	193	100	2,016	96
	アクチュエータ	216	90	192	107	180	94	2,271	96
	その他の電子部品	467	104	449	123	422	98	4,369	97
	電源部品	165	91	161	96	160	97	1,634	90
高周波部品	301	114	287	147	261	98	2,734	101	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	11月		12月		1月		4月-1月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,171	90	3,080	103	2,890	91	31,227	93
日本	709	82	724	94	667	94	7,217	92
米州	286	77	277	87	320	84	3,203	92
欧州	306	88	239	89	339	87	3,154	94
中国	1,232	100	1,210	119	925	91	11,127	94
アジア他	640	88	632	101	642	92	6,568	95

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) HP をご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上